

救急医3名体制始動！ 患者さま第一の救急医療を目指して

井上茂亮（いのうえ しげあき）医師

救命救急科

准教授/救急センター長

専門領域：救命救急、外傷、敗血症、中毒、集中治療



杉田医師

井上医師

日上医師

2015年度4月から東海大学医学部附属八王子病院に赴任致しました井上 茂亮でございます。これまでは、13年間神奈川県伊勢原市にある東海大学医学部附属病院 高度救命救急センターの救命センター（ER）において、外傷や熱傷などの初期診療と集中治療室（ICU）での集中治療、病院前および災害医療システムの構築に取り組んでまいりました。

救命救急医療は究極のチーム医療です。決して救急医だけで成り立つものではありません。このため私は約1年前より渡辺勲史病院長や様々な診療科の先生方にアドバイスをいただきながら、他職種が有機的に連携し質の高い急性期医療を供給できる救急医療システムを構築してきました。そして今年4月1日に私とともに杉田真理子医師も異動になりました。これにより、昨年4月から所属している日上滋雄医師を含めて救急センター専属の救命救急医が3名となりました。さらに、救急科看護師4名（うち救急認定看護師1名）、院内救急救命士3名を合わせた総勢9名が東海大学医学部附属病院 高度救命救急センターよりチームとして異動してくれました。私達9名の新戦力が新たに救急センターに加わることで、幅広く様々な患者様の受け入れと診療に対応できることになりました。

私たちの救急センターのモットーは、「All Tokai」と「救急車は断らない」です。「All Tokai」とは長年務めた私の前任地での合言葉で、東海大学病院のスタッフが一丸になって取り組むとともに「救急患者・救急車をより多く搬送してほしい」という地域の病院・医院・消防機関に向けたメッセージでもあります。**今年4月より、平日8:30から23時まで、また週末の一部は24時間体制で救急科専門医がすべての救急車の初期診療を行います。**この新システムにより、**受け入れ可能な救急患者は大幅に拡大し、近隣の医療機関および消防機関のご尽力により救急車搬送件数は激増しております。また八王子地区のみならず、最近では多摩地区や都心で十数件断られたらい回しになった救急車も積極的に受け入れています。**

また救命救急科はERにおけるただの振り分け部門ではありません。**多発外傷、薬物中毒、原因不明なショック、外科処置が必要な重症感染症**など、外科・内科・脳神経外科・整形外科・精神科など単一の診療科では対応できない患者様を当科で積極的に入院させていただき、ICUやハイケアユニット（HCU）で集中治療に全力を注いでおります。実は、このような多診療科にまたがる複雑な疾病に柔軟に対応できる診療チームは東京都には非常に少ないようで、近隣の医療機関や県外からの転院症例も増加しています。

最後に、「**救急医療とは、市民の医療インフラである**」と、私は考えています。電気・ガス・水道同様、市民生活を根底から支えるライフラインの一つです。普段はその有り難さ気づかないのですが、災害時などでパワーダウンしてはじめて、そのニーズや有り難さが実感できるものです。**当救急センターは、人口58万人の八王子市民の急性期医療インフラの柱として、市民の皆様の生活を支え、地域の皆様から信頼される存在でありたいと思います。また、大規模災害発生時には地域医療の核になれるよう、積極的に災害医療体制の整備にも全力で取り組んでいきたい**と思います。「**患者様 満足度No1 救命センター**」を目指して邁進したいと思いますので、近隣の先生方におかれましては今後ともご指導ご鞭撻のほど何卒よろしくお願い致します。